

ダイワ米国厳選 バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2018年11月28日)
(作成対象期間 2017年11月29日～2018年11月28日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約5年9カ月間（2015年3月6日～2020年11月27日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

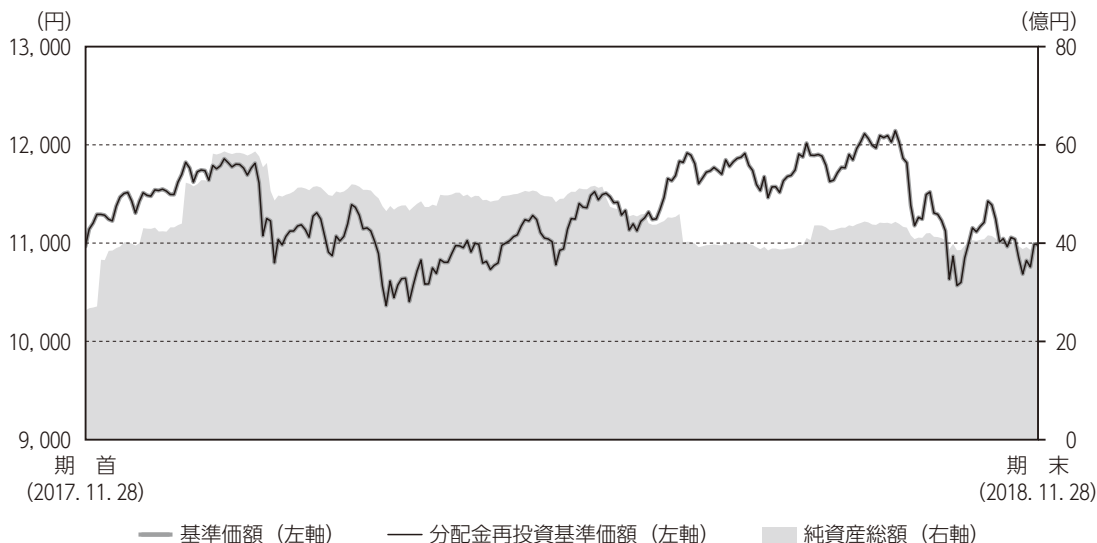
決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (円換算)		株 組 比	式 入 率	株 先 比	式 物 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率					
	円	円	%		%		%		%	百万円
1 期末 (2015年11月30日)	9, 549	0	△ 4. 5	10, 178	1. 8		92. 7	—	—	5, 116
2 期末 (2016年11月28日)	9, 374	0	△ 1. 8	9, 850	△ 3. 2		92. 7	—	—	8, 530
3 期末 (2017年11月28日)	10, 967	0	17. 0	11, 449	16. 2		91. 2	—	—	2, 634
4 期末 (2018年11月28日)	10, 983	0	0. 1	12, 101	5. 7		94. 2	—	—	3, 944

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10, 000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：10,967円

期 末：10,983円（分配金 0 円）

騰落率：0.1%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況や米ドルの対円為替相場は上昇したものの、一部の保有銘柄のパフォーマンスが低調であったことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選バリュー株ファンド（ダイワSMA専用）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2017年11月28日	円	%		%	%	%
	10,967	—	11,449	—	91.2	—
11月末	11,205	2.2	11,667	1.9	90.6	—
12月末	11,494	4.8	12,041	5.2	92.3	—
2018年 1 月末	11,692	6.6	12,175	6.3	93.3	—
2 月末	11,246	2.5	11,683	2.0	93.4	—
3 月末	10,638	△ 3.0	11,124	△ 2.8	97.1	—
4 月末	10,989	0.2	11,563	1.0	94.9	—
5 月末	10,927	△ 0.4	11,740	2.5	93.3	—
6 月末	11,222	2.3	11,905	4.0	93.8	—
7 月末	11,702	6.7	12,336	7.7	95.8	—
8 月末	11,895	8.5	12,775	11.6	92.5	—
9 月末	12,095	10.3	13,122	14.6	94.2	—
10月末	10,851	△ 1.1	12,047	5.2	93.8	—
(期 末) 2018年11月28日	10,983	0.1	12,101	5.7	94.2	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 11. 29 ~ 2018. 11. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、米国の税制改革法案成立への期待や堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、当作成期首から2018年1月下旬にかけて上昇しましたが、米国の雇用統計が市場予想を上回り、米国の金利が上昇したことで市場のリスク回避姿勢が強まり、2月中旬にかけて調整しました。その後は、米国の利上げペースや米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら一進一退の推移となりましたが、米中通商問題の懸念が和らいだことや堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、9月下旬にかけて上昇しました。しかしその後、米国長期金利が約7年ぶりの水準まで上昇したことや米中通商問題への懸念が高まったことから、下落に転じました。11月上旬以降は、米国の中間選挙結果が市場の事前想定通りとなった安心感などから上昇する局面もありましたが、一部のハイテク企業が需要見通しを引き下げたことを嫌気し、再度下落しました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、米国の税制改革法案成立への期待などから、当作成期首より上昇して始まりました。2018年に入ると、米国長期金利の上昇を受けて株価が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まったことや米中の貿易摩擦への懸念などから、3月中旬にかけて下落基調となりました。その後、当作成期末にかけては、株式市場の下落局面や、トランプ大統領が米ドル高や他国通貨安に対するけん制発言を行った局面において下落しましたが、FOMC（米国連邦公開市場委員会）での利上げの決定とともに、2018年の政策金利見通しを引き上げたことや米国の堅調な経済情勢などが好感され、米ドル対円相場は上昇基調で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2017. 11. 29 ~ 2018. 11. 28)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

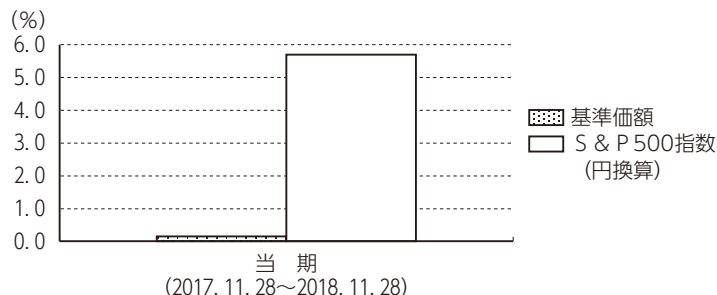
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、CHARTER COMMUNICATIONS（コミュニケーション・サービス）、HCA HEALTHCARE（ヘルスケア）などを高位で組み入れました。この結果、資本財セクターや金融セクターの一部の保有銘柄のパフォーマンスが低調であったことがマイナス要因となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年11月29日 ～2018年11月28日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	982

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 11. 29～2018. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	163円	1.436%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,344円です。
(投 信 会 社)	(120)	(1.058)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.324)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(6)	(0.054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.028	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.028)	
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	3	0.025	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	169	1.490	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ米国厳選バリュー株ファンド（ダイワSMA専用）

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月29日から2018年11月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	1, 164, 011	3, 744, 000	764, 829	2, 445, 000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年11月29日から2018年11月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	15, 126, 457千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	9, 552, 871千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	1. 58

(注 1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	859, 902	1, 259, 084	3, 910, 212

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	3, 910, 212	98. 4
コール・ローン等、その他	65, 335	1. 6
投資信託財産総額	3, 975, 548	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
なお、11月28日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝113. 79円です。

(注 3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (8, 266, 995千円) の投資信託財産総額 (8, 562, 744千円) に対する比率は、96. 5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3, 975, 548, 554円
コール・ローン等	65, 335, 734
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	3, 910, 212, 820
(B) 負債	31, 129, 118
未払信託報酬	31, 011, 331
その他未払費用	117, 787
(C) 純資産総額 (A－B)	3, 944, 419, 436
元本	3, 591, 448, 550
次期繰越損益金	352, 970, 886
(D) 受益権総口数	3, 591, 448, 550口
1万口当り基準価額 (C／D)	10, 983円

* 期首における元本額は2, 401, 940, 828円、当作成期間中における追加設定元本額は 3, 327, 923, 741円、同解約元本額は2, 138, 416, 019円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10, 983円です。

■損益の状況

当期 自2017年11月29日 至2018年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 12,575円
受取利息	3,590
支払利息	△ 16,165
(B) 有価証券売買損益	△ 43,276,406
売買益	70,492,312
売買損	△ 113,768,718
(C) 信託報酬等	△ 65,687,602
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 108,976,583
(E) 前期繰越損益金	101,561,809
(F) 追加信託差損益金	360,385,660
(配当等相当額)	(248,987,825)
(売買損益相当額)	(111,397,835)
(G) 合計 (D + E + F)	352,970,886
次期繰越損益金 (G)	352,970,886
追加信託差損益金	360,385,660
(配当等相当額)	(248,987,825)
(売買損益相当額)	(111,397,835)
分配準備積立金	101,568,027
繰越損益金	△ 108,982,801

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：26,346,091円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	251,421,652
(d) 分配準備積立金	101,568,027
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	352,989,679
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	352,989,679
(h) 受益権総口数	3,591,448,550口

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2018年11月28日)

(作成対象期間 2018年5月29日～2018年11月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

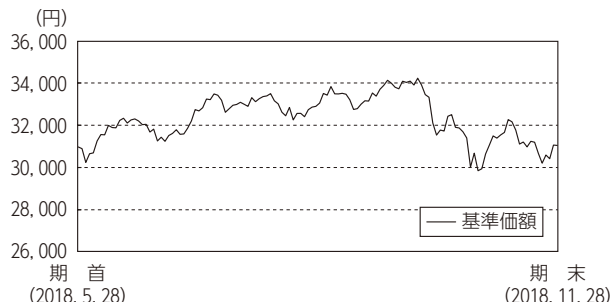
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2018年5月28日	30,982	—	28,135	—	93.6	—
5月末	30,657	△ 1.0	27,950	△ 0.7	93.7	—
6月末	31,526	1.8	28,342	0.7	94.1	—
7月末	32,920	6.3	29,367	4.4	96.1	—
8月末	33,517	8.2	30,413	8.1	92.7	—
9月末	34,118	10.1	31,239	11.0	94.3	—
10月末	30,649	△ 1.1	28,680	1.9	93.9	—
(期末) 2018年11月28日	31,056	0.2	28,809	2.4	95.0	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：30,982円 期末：31,056円 騰落率：0.2%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が下落した一方で、米ドルが対円で上昇したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、米中通商問題の懸念が和らいだことや堅調な経

済指標の発表などが支援材料となり、当作成期首から2018年9月下旬にかけて上昇しました。しかしその後、米国長期金利が約7年ぶりの水準まで上昇したことや米中通商問題への懸念が高まったことから、下落に転じました。11月上旬以降は、米国の中間選挙結果が市場の事前想定通りとなった安心感などから上昇する局面もありましたが、一部のハイテク企業が需要見通しを引き下げたことを嫌気し、再度下落しました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル円為替相場は、株式市場の下落局面や、トランプ大統領が米ドル高や他国通貨安に対するけん制発言を行なった局面において下落しましたが、FOMC (米連邦公開市場委員会) での利上げの決定とともに2018年の政策金利見通しを引き上げたことや米国の堅調な経済情勢などが、米ドル対円相場の上昇要因となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエーツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエーツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエーツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、CHARTER COMMUNICATIONS (コミュニケーション・サービス)、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (金融)などを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエーツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行なってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (3) (0)
合 計	7

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

当 期				期 付			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
FACEBOOK INC-CLASS A (アメリカ)	16.745	373,726	22,318	HCA HEALTHCARE INC (アメリカ)	34.515	466,613	13,519
LEAR CORP (アメリカ)	21.285	350,858	16,483	CARMAX INC (アメリカ)	56.24	462,646	8,226
POST HOLDINGS INC (アメリカ)	34.835	340,833	9,784	ORACLE CORP (アメリカ)	67.46	361,500	5,358
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN (アメリカ)	36.325	308,188	8,484	COMMScope HOLDING CO INC (アメリカ)	99.28	323,591	3,259
CENTENNIAL RESOURCE DEVELO-A (アメリカ)	131.91	261,141	1,979	CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	9.319	320,625	34,405
SCHWAB (CHARLES) CORP (アメリカ)	49.28	252,892	5,131	CDW CORP/DE (アメリカ)	29.765	274,301	9,215
NETFLIX INC (アメリカ)	6.85	208,465	30,432	IQVIA HOLDINGS INC (アメリカ)	20.55	274,035	13,335
GENERAL ELECTRIC CO (アメリカ)	152.69	176,065	1,153	WELLS FARGO & CO (アメリカ)	39.13	238,265	6,089
CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	28.545	131,869	4,619	ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	1.605	202,431	126,125
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	11.51	67,648	5,877	CITIGROUP INC (アメリカ)	24.565	181,004	7,368

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
MOODY'S CORP	299.24	256.79	3,921	446,220	金融
CITIGROUP INC	690.15	455.5	2,890	328,921	金融
POST HOLDINGS INC	—	314.35	2,929	333,375	生活必需品
CATERPILLAR INC	139.75	111.45	1,388	158,016	資本財・サービス
CDW CORP/DE	297.65	—	—	—	情報技術
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	482.1	715.55	5,378	612,052	一般消費・サービス
COMMSCOPE HOLDING CO INC	992.8	—	—	—	情報技術

■売買および取引の状況

株 式

(2018年 5月29日から2018年11月28日まで)					
		買 付		売 付	
外国	アメリカ	株 数	金 額	株 数	金 額
		百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		5,077.75	23,668	6,172.74	40,212
		(—)	(—)		

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

銘柄	株数	期 首		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	264.19	175.1	5,561	632,885	コミュニケーション・サービス	
CBRE GROUP INC - A	758.15	900.35	3,848	437,977	不動産	
IQVIA HOLDINGS INC	205.5	—	—	—	ヘルスケア	
WELLS FARGO & CO	918.75	542.1	2,883	328,105	金融	
NETFLIX INC	—	66.65	1,777	202,214	コミュニケーション・サービス	
ORACLE CORP	1,100.65	442	2,096	238,600	情報技術	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	1,225.85	1,085.2	4,713	536,294	金融	
NATIONAL OILWELL VARCO INC	864.05	548.7	1,754	199,672	エネルギー	
SCHWAB (CHARLES) CORP	—	492.8	2,233	254,191	金融	
CARMAX INC	562.4	—	—	—	一般消費・サービス	
LEAR CORP	—	203.05	2,747	312,634	一般消費・サービス	
COMCAST CORP-CLASS A	899.45	484.3	1,857	211,396	コミュニケーション・サービス	
ファン ド	株数、金額	13,595.07	12,500.08	70,481	8,020,107	
合 計	銘柄数<比率>	21銘柄	23銘柄	<95.0%>		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	8,020,107	93.7
コール・ローン等、その他	542,636	6.3
投資信託財産総額	8,562,744	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.79円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（8,266,995千円）の投資信託財産総額（8,562,744千円）に対する比率は、96.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	8,562,744,401円
コール・ローン等	484,941,446
株式（評価額）	8,020,107,657
未収入金	52,068,555
未収配当金	5,626,743
(B) 負債	118,827,012
未払金	117,821,341
未払解約金	1,000,000
その他未払費用	5,671
(C) 純資産総額（A－B）	8,443,917,389
元本	2,718,902,660
次期繰越損益金	5,725,014,729
(D) 受益権総口数	2,718,902,660口
1万口当り基準価額（C／D）	31,056円

* 期首における元本額は3,385,567,596円、当作成期間中における追加設定元本額は144,835,341円、同解約元本額は811,500,277円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイー Aコース（為替ヘッジあり）359,002,644円、ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイー Bコース（為替ヘッジなし）1,100,815,517円、ダイワ米国厳選バリュー株ファンド（ダイワSMA専用）1,259,084,499円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は31,056円です。

■損益の状況

当期 自2018年5月29日 至2018年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	50,677,244円
受取配当金	48,706,071
受取利息	2,003,615
支払利息	△ 32,442
(B) 有価証券売買損益	66,042,842
売買益	939,118,750
売買損	△ 873,075,908
(C) その他費用	△ 1,047,988
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	115,672,098
(E) 前期繰越損益金	7,103,677,695
(F) 解約差損益金	△ 1,830,499,723
(G) 追加信託差損益金	336,164,659
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	5,725,014,729
次期繰越損益金（H）	5,725,014,729

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。